

図書委員のおすすめの本！



「恋物語」西尾維新
神様と命の取引をした戦場ヶ原。彼女が生き残るために選んだのは、真っ黒で、最悪の手段だった……。 「恋」と「嘘」と「怪」の物語。まずは物語シリーズの1巻からお読みください。



「総理にされた男」中山七里
ある日、慎作は「国家の一大事」を秘密裏に告げられ、総理の替え玉を引き受けることに。襲い掛かる未曾有の事態に、慎作の声は皆の心に届くのかー。とても面白い作品なのでぜひ読んでみて下さい。



「わるいうさぎ」中島さなえ
6つの短編でできている不思議な不思議な大人の物語。この短編、見事にエピソードで繋がったのでしょうか。それぞれの動物達が本の中から飛び出してきそうな物語です。ぜひ読んでください。



「岸辺のヤービ」梨木香歩
ある晴れた日、わたしが、湖に浮かべたボートの上で出会ったのは、ふわふわの毛につつまれた、二本足で歩くハリネズミのヤービであった。そんなヤービとひととの新しい出会いの物語です。誰でも楽しめると思います。

先生にインタビュ〜〜！

遅塚恵子先生(英語)に聞きました

Q1 先生のお気に入りの本を教えてください。何冊でも。

『最後の授業 ぼくの命があるうちに』というカーネギーメロン大学教授だったランディ・パウシュの講義を本にしたものです。洋書では、The Last Lecture というタイトルで出版されています。

Q2 その本を選んだ理由は何ですか。

私も知り合いから薦められて読んだのですが、余命数か月の著者が学生を相手に行った最後の特別講義「子供のころの夢を実現すること」の内容がすばらしく、これから夢をかなえて生きていこうとしている皆さんへのメッセージにもなると思い選びました。難しく…と思った人は、まず YouTube で講義映像を見てみましょう。ユーモアたっぷりに話していますので飽きないと思います。その後ぜひ本を読んでみてください。また違った感想を得られるかもしれません。本には講義以外の内容も載っています。



Q3 日立北の生徒に一言お願いします。

本はネットでは得られない様々な情報を与えてくれます。そして、皆さんの知識を増やし、思考力を与え、想像力を膨らませてくれます。集中力もつきます。それに、活字のほうが頭に残りやすいとも言われています。さらに、リラックス効果もあるのですよ。たまには本の世界に浸ってゆっくりするのも良いですね。色々なジャンルの本を読んで、頭の中の引

き出しをいっぱいにしましょう。話のタネも増え、人生が豊かになりますよ。

新しい本の紹介 読んでみて下さい

- 「岸辺のヤービ」 梨木香歩
- 「日々のごちそう帖」 高橋良枝
- 「武道館」 朝井リョウ
- 「デザインマンホール大図鑑」 カラーマンホール研究会
- 「ジェラート、アイスクリーム、シャーベット」 柳瀬久美子
- 「僕は小説が書けない」 中村航 中田永一
- 「自分のアタマで考えよう」 ちきりん
- 「ユートピア」 湊かなえ
- 「夏への扉」 ロバート・A・ハインライン
- 「職業としての小説家」 村上春樹
- 「皮膚感覚と人間のこころ」 傳田光洋
- 「ブラウン運動」 米沢富美子
- 「ふたえ」 白河三兔
- 「僕は小説が書けない」 中田永一
- 「サメズ」 アリムラモハ
- 「日本語ぽこりぽこり」 アーサー・ビナード
- 「村上さんのところ」 村上春樹

<図書委員アンケート結果報告>36人中

- Q1 どのぐらい本を読みますか。
1ヶ月に1冊以上読む人 16人 いました
- Q2 人気の作家は？ 第1位 有川 浩 6人
第2位 西尾 維新 2人
コナン・ドイル
江戸川 乱歩
- Q3 好きな本は？

「図書館戦争」「モナミは世界を終わらせる」
「武士道」「手紙」「ガリレオシリーズ」「化物語」ほか